

「ちば遺産100選」・「ちば文化的景観」に選定された市の文化財と景観

平成20年度に千葉県教育委員会で、自然環境や歴史・文化を多面的な文化財の普及・活用を目指して「ちば遺産100選」や「ちば文化的景観」を実施しました。

「ちば遺産とは何だろう」と思う人も多いと思います。これは今日本でも多く登録されました「世界遺産」の千葉版と考えて頂ければと思います。

選定の基本は、ちば遺産は、伝統文化（有形・無形民俗）、文化遺産（有形・史跡・名称）、自然遺産（天然記念物）の各分野から選定されました。選定方法は、県内の各博物館関係、公共機関、千葉県教育委員会ホームページなどに投票方式をとり、山武市では千葉県指定天然記念物のクマガイソウ、国指定天然記念物の成東・東金食虫植物群落が100選に選定

され、山武市の山武杉のある景観が文化的景観に選定されました。

市の文化遺産・景観の再認識して頂くとともに、生物多様性を始めとする環境保全や観光資源としての活用につなげていきたいものですね。

【成東・東金食虫植物群落】

食虫植物群落は、大正9年7月に「成東町肉食植物産地」の名称で指定されました。そして昭和53年に名称変更がなされ、現在の食虫植物群落として親しまれています。



モウセンゴケ
(食虫植物)



イシモチソウ
(食虫植物)



ミズドリ

現在植物は、350種の維管束植物、コケ植物34種が生息し、現在の指定面積は約3万2千平方メートルとなっています。

5月〜7月に見られる植物は、モウセンゴケ、コモウセンゴケ、イシモチソウなどが見られます。他にはトクソウ、ノアザミ、ミズドリなども見られますので、まだ見学していない人はぜひご覧ください。8月末日までは毎日監視員が説明してくれますので来場時には、監視員に声をかけてください。なお、団体予約も行っています。

【クマガイソウ】

ラン科の植物で北海道から九州まで分布し、中国大陸にも見られる



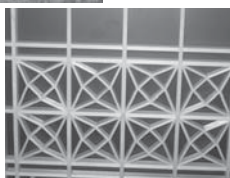
クマガイソウ

(ラン科)

植物ですが、乱獲により現在は非常に生息地が限定されています。4月中旬から5月上旬に薄紫色の花が咲きます。近年は不心得の者による盗掘があり、絶滅の危機にさらされましたが、所有者の努力により現在は、群落として生息するまでに回復し、守られています。

【山武杉のある景観】

山武杉の景観



組子細工

山武地区周辺の台地に展開する杉の植林で、標高は40メートル程の台地に青々とした杉の景観が見られます。この地域の杉は、九十九里浜の鰯漁で使う材木を確保するために植林したとされ、江戸時代に始まったとされます。

また、山武埴谷地区には、建具屋さんがたくさんあり、襖や障子に杉を利用した組子細工が多数作られました。

問い合わせ先

成東・東金食虫植物群落
管理棟 ☎(82)4871
山武市教育委員会生涯学習課 ☎(80)1451